

生き生き みんなの憩いの場 一条ふれあい会館

皆様もいかがお過ごしでしょうか

7月28日に、熊本県で最大震度7を観測する大地震が発生しました。また千葉県は8月13日から14日にかけて豪雨となり、広範囲にかけて道路の冠水が発生、帰宅困難者が続出する甚大な被害に見舞われました。被災地の日も早い復旧、復興を願っております。

～防災の日と防災週間～

9月1日は**防災の日**、この日を含む8月30日～9月5日までが**防災週間**とされています。徳島県もいつ地震、台風、豪雨などの災害が起こるかわかりません。**防災週間**には「身の安全の確保」「正確な情報収集」「避難行動と備蓄の見直し」を毎年一度見直すだけでも、いざという時の安心感がかなり違ってきます。災害を**自分事**として捉え、考え、行動することで減災につながります！

☆☆大御和神社のカラフル提灯参道☆☆【開催期間:2026年7月中旬～8月31日】

徳島市国府町の大御和神社のホームページを見て、さっそく行ってきました。境内はカラフルな提灯で彩られ、茅の輪くぐりもでき、今年前半の罪や穢れを祓い、残り半年の無病息災をお願いしてきました。

◆大御和神社について

大己貴命（オオナムチノミコト）は、「大国様（だいくさま）」と呼ばれ、神話の中でも「因幡の白うさぎ」で知られる、赤裸にされたうさぎをお助けした、優しき神さまです。須佐之男命（スサノオ）の神孫にあたり、万民を難病から救う神として信仰されている「少彦名命（すくなひとなのみこと）」と共に、国土の開発や医療などの知識や文化を人々に授け、日本の国を稲穂がたくさん稔る豊かな国へとつくりあげました。慈悲深く、福德を授ける神として崇敬されています。

◆神社の歴史

府中の宮「こうのみや」として親しまれている「大御和神社（おおみわじんじゃ）」の歴史は古く詳細は不明ですが、第四十二代天皇である文武天皇（もんむてんのう）の時代にあたる大宝二年（702年）に、当国の国司より国璽の印（こくじのいん）、国庫の鑰（かぎ）を献納されたことから「印鑰大明神」と奉称されたと伝えられています。第42代天皇の平安時代、醍醐（ごだい）天皇の時代にあたる延喜（えんぎ）五年（905年）にまとめられた「延喜式神名帳（えんぎしきじんみょうちょう）」にも登録されている式内神社です。

《館だよりが皆様のお手元に届く頃には、残念ながらカラフル提灯参道は終了しています。》



「行為の意味」 宮澤章二

「心」は誰にも見えない。
けれど
「心遣い」は見える。
「思い」は誰にも見えない。
けれど
「思いやり」は見える。
（一部抜粋）

あたたかい心も、
やさしい思いも、
行いによって
はじめて見える
その思いを
やさしい行為に♡

今月の言葉

うちの子ノ 可愛い♡

